

《担当者名》○向谷地生良 [ikuyoshi@hoku-iryo-u.ac.jp]
 巻 康弘 [maki@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

「自己決定」「利用者主体」「権利擁護」を取り上げ、医療福祉領域で展開されるソーシャルワーク実践の倫理的な課題について理解を深める。医療ソーシャルワーカーの持つべき「価値」を、歴史的背景や社会背景を踏まえ、関連する講義・論文購読をし、ディスカッションを行う。

【学修目標】

社会福祉基礎構造改革から、一貫してその施策に貫かれている「自己決定論」を批判的に検証し、その実質化に向けて実践的にアプローチすることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	この講義で取り上げる課題について、問題意識を共有する	向谷地 巻
2) 8	1. 医療福祉における「自己決定」をめぐり議論について学ぶ 2. 「利用者主体論」について学ぶ	1～2の課題について、講義・論文購読し、ディスカッションを行う 参考文献 「ケアその思想と実践3 ケアされること」岩波書店 「ケアとはなんだろうか」ミネルヴァ書房	向谷地 巻
9) 15	1. 「生活」「生活支援」について学ぶ 2. 医療機関から求められる「医療福祉」について考える	1～2の課題について、講義・論文購読し、ディスカッションを行う	向谷地 巻

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

準備・参加状況30%、プレゼンテーション30%、課題レポート40%

【参考書】

講義時に提示

【学修の準備】

関連文献を読み、ディスカッション等に反映できるような準備が望まれる。